

月	単元		学習の目標(ねらい)及び内容	評価の観点			評価規準
	単元名	時数		知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度	
4月	世界はうつくしいと握手	1	・ 語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	○	○	○	【知・技】詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。
	漢字に親しよう1	4	・ 語句の量を増し、語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・ 物語の展開のしかたなどを捉えることができる。 ・ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えることができる。【ICT使用】	○	○	○	【知・技】「現在」と「回想」の部分を読み分けるための語句や、登場人物の心情や人物像を表す言葉、表現に着目している。 【思・判・表】 ・ 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・ 文章の登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。
	【聞く】意見を聞き、適切さを判断する 季節のしおり 春	1	・ 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	○	○	○	【知・技】漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。
	説得力のある構成を考えよう	1	・ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ・ 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 ・ 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。【ICT使用】	○	○	○	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思・判・表】 ・ 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。
5月	文法への扉1 「走って」いるのは誰?	4	・ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ・ 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、語の構成を工夫することができる。 ・ 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。	○	○	○	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思・判・表】 ・ 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、語の構成を工夫している。 ・ 「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。
	相手や場に応じた言葉遣い	1	・ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、語や文章の構成や展開について理解を深めることができる。【ICT使用】	○	○	○	【知・技】既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際のポイントになることを理解している。
	学びて時に之を習ふ	1	・ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。	○	○	○	【知・技】敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。
6月	作られた「物語」を超えて	3	・ 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ・ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。【ICT使用】	○	○	○	【知・技】歴史的背景を押さえ、書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。 【思・判・表】 ・ 孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。
	思考のレッスン 具体化・抽象化	3	・ 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ・ 文章の種類を踏まえて論理の展開のしかたを捉えることができる。 ・ 文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価することができる。【ICT使用】	○	○	○	【知・技】コリラの事例と人間社会の語に着目して、具体と抽象の関係を理解している。 【思・判・表】 ・ 論説の特性を踏まえ、原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉えている。 ・ 原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、それらが文章の中で無理なく結び付いているかを確かめながら、自分の考えをまとめている。
	情報の読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く	1	・ 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。【ICT使用】	○	○	○	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。
7月	漢字1 熟語の読み方 漢字に親しよう2	2	・ 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ・ 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。【ICT使用】	○	○	○	【知・技】具体的な情報を基に、着眼点を決めて分析し、自分の考えをまとめている。 【思・判・表】資料から読み取ったことと考えとの関連などについて、改善点を助言し合って推敲している。
	漢字1 熟語の読み方 漢字に親しよう2	2	・ 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。【ICT使用】	○	○	○	【知・技】文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。
	俳句の可能性 俳句を味わう	4	・ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ・ 文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ・ 文章の構成や表現のしかたについて評価することができる。 ・ 多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。 ・ 表現のしかたを捉えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。【ICT使用】	○	○	○	【知・技】 ・ 理解したり表現したりするために必要な語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。 ・ 俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。 【思・判・表】 ・ 俳句の形式とその特徴について理解し、俳句を創作している。 ・ 語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、評価している。 ・ 伝えたいことが効果的に伝わる構成(語順)を考えて、俳句を創作している。 ・ 自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。
言葉の釣り糸を垂らす	2	・ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えることができる。	○	○	○	・ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えている。	
言葉1 和語・漢語・外来語	1	・ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。【ICT使用】	○	○	○	【知・技】和語・漢語・外来語について理解し、相手や場に応じて適切に使っている。	
実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	3	・ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ・ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えることができる。 ・ 文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価することができる。 ・ 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。	○	○	○	【知・技】実用的な文章の資料ごとに、情報の発信者・発信時・発信目的を確認している。 【思・判・表】 ・ 事実他事例の選び方、取り上げ方や語句の選び方に着目して文章を読み、書き手の思惑や意図について考えている。 ・ 読み手に必要な情報を過不足なく伝えているか、読み手の状況に合わせた言葉や表現を使っているか、不親切で誤解を招く表現になっていないかなどの点に着目して文章を読み、課題に取り組んでいる。 ・ 観点ごとに情報を整理し、着眼的を参考に情報の客観性や信頼性を確認しながら表にまとめている。	
情報整理のレッスン 情報の信頼性	1	・ 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。	○	○	○	【知・技】情報の発信日時、発信源、情報の目的などの観点から、情報の信頼性を確認している。	

読書を楽しむ	1	◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。【ICT使用】	○	○	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)イ) 【態】進んで読書の意義と効用について理解し、見直しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。	
	「私の一冊」を探しにこ う季節のしおり 夏	1	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	○	○	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解しようとしている。 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。
9月	挨拶 —原爆の写真によせて	2	・詩の構成や表現のしかたについて評価することができる。 ・詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。【ICT使用】	○	○	【知・技】比喻や象徴的な表現に着目し、文脈の中で意味を考えている。 【思・判・表】 ・詩に用いられている比喻や象徴的な表現の効果について自分の考えをまとめている。 ・現代社会の状況と重ね合わせながら詩を読み深め、作者の思いや考えに対して自分の考えをまとめている。
	故郷	5	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えることができる。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。【ICT使用】	○	○	【知・技】文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。 【思・判・表】 ・自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値を探っている。 ・「私」が考えている「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べている。
	【推談】論理の展開を整える	1	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ・目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。	○	○	【知・技】「具体と抽象」、「事実と意見」、「意見と根拠」について既習した内容を振り返りながら課題に取り組んでいる。 【思・判・表】課題に沿って文章を推談し、論理の展開を整えている。
10月	聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	1	・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。 ・話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価し、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	○	○	【知・技】話し手や聞き手が、対談の中で、適切な言葉遣いをしていく。 【思・判・表】自分の知識や経験などと結び付けながら話を聞き、対談の中で、相手の思いに迫ることができた質問や話を豊かに展開させた応答は、どのようなものだったか捉えている。
	言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	1	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	○	○	【知・技】慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語を調べたりしている。
	漢字2 漢字の造語力	1	・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	○	○	【知・技】漢字の造語力を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている
	複数の意見を読んで、考えよう—正解が一つに決まらない課題と向き合う	3	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えることができる。 ・文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価することができる。【ICT使用】	○	○	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 【思・判・表】 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えることができる。 ・文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価することができる。
	考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く	4	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。 ・表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。	○	○	【知・技】具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。 【思・判・表】 ・観点を決めて問いと考えを書き出し、表にまとめるなどして分析している。 ・自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。
漢字に親しもう3	1	・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	○	○	【知・技】文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。	
文法への扉2 「ない」の違いがわからない?	1	・単語の分類について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解することができる。【ICT使用】	○	○	【知・技】「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解している。	
初恋 季節のしおり 秋	1	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・詩の構成や展開、表現のしかたについて評価することができる。	○	○	【知・技】言葉の響きやリズムを味わいながら朗読している。 【思・判・表】文語定型詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を想像している。	
和歌の世界 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序君待つと —万葉・古今・新古今	4	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。 ・和歌の表現のしかたについて評価することができる。【ICT使用】	○	○	【知・技】 ・三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像している。 ・気に入った言葉や表現の効果などに気づき、引用している。 【思・判・表】心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもっている。	
11月	夏草 —「おくのほそ道」から つながる古典 古典名作選	5	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。【ICT使用】	○	○	【知・技】 ・作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。 ・古典の言葉を引用して鑑賞文やメッセージを書いている。((3)イ) 【思・判・表】 ・芭蕉の「旅」についての考えを読み取り、現代の「旅」がもつ意味と比較している。 ・芭蕉が見たものや感じたことを想像している。 ・自分の思いを表現するのにふさわしい文章の種類を選び、相手の状況を踏まえて構成を工夫してメッセージを書いている。
	それでも、言葉を	4	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、事前などについて、自分の意見をもつことができる。	○	○	【知・技】 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思・判・表】 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、事前などについて、自分の意見をもっている。
12月	【話し合い（進行）】話し合いを効果的に進める	1	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ・進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。	○	○	【知・技】全体に関わる大きな論点から、具体的な論点へと話し合いを進める方法を考えている。 【思・判・表】話し合いの目的や進み具合など展望をもって効果的に話し合う工夫を考えている。
	合意形成に向けて話し合う 課題解決のために会議を開く	4	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ・進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。	○	○	【知・技】複数の発言の共通点を結び付けて、一つの提案にまとめている。 【思・判・表】提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かしたりして話し合っている。
	漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5	1	・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。	○	○	【知・技】文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。

1月	本は世界への扉 天、共に在り 極夜行 季節のしおり 冬 読書案内 本の世界を広げよう	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。</li> <li>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知・技】二つのノンフィクションを読み、読書によって、さまざまな状況に生きる人々やそこで活動する人々について知ったり、読書が自分の生き方を支えてくれることに気づいたりする。</li> <li>【思・判・表】読書を通して、考えたことや気づいたことを読書ノートに書いたり、「私のおすすめ」として紹介したりしている。</li> </ul>
	温かいスープ	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。</li> <li>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知・技】文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。</li> <li>【思・判・表】自分の生き方と作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何か自分の考えをまとめている。</li> </ul>
	アラスカと出会い	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。</li> <li>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</li> <li>【思・判・表】文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</li> </ul>
	律儀な桜	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。</li> <li>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</li> <li>【思・判・表】文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。</li> </ul>
	わたしを束ねないで	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。</li> <li>詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。【ICT使用】</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知・技】言葉の使われ方や表現の特色に気をつけながら詩を朗読している。</li> <li>【思・判・表】詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。</li> </ul>
2月	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用語や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けられることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。</li> <li>敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。</li> <li>場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。</li> <li>文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知・技】目的や相手を意識して言葉を選び、冊子をまとめようとしている。</li> <li>【思・判・表】相手や場を意識しながら適切な言葉を選び、自分の考えを伝えている。</li> <li>【思・判・表】相手を意識して敬語を適切に使い、自分の考えがわかりやすく伝わるように構成を考えて発表している。</li> <li>【思・判・表】自分の考えや思いがわかりやすく伝わるように構成や内容を考えて冊子を作っている。</li> </ul>
	漢字に親しもう6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知・技】音訓や部首などに気をつけて、これまでに学習した漢字を読んだり書いたりしている。</li> </ul>
3月	学習を振り返ろう	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。</li> <li>具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。</li> <li>時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。</li> <li>自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。</li> <li>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。</li> <li>自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。</li> <li>場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。</li> <li>表現の仕方を考えたり、資料を適切に引用するなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。【ICT使用】</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知・技】相手や場を意識して敬語を使ってスピーチしたり、説明文を書いたりしている。</li> <li>【思・判・表】目的に応じて情報を収集・整理して相手にわかるように説明している。</li> <li>【思・判・表】昔の時間の表し方や地名などを調べ、現代と比較したり、現代に受け継がれたりしていることを理解している。</li> <li>【思・判・表】アイヌ民族における地名に関する文章を読み、読書によって世界が広がることを理解している。</li> <li>【思・判・表】文章に表れているものの方、考え方と自分の考えを比較して、人間や社会について自分の考えを書いている。</li> <li>【思・判・表】目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように表現のしかたを工夫している。</li> <li>【思・判・表】自分の考えがわかりやすく伝わるように聞き手の反応を確かめながら、問いかけたりわかりやすく言い換えたりしている。</li> <li>【思・判・表】本文から根拠となる部分を挙げて、客観的に自分の考えを書いている。</li> </ul>

評価方法		
① 知識・技能		定期考査・ワークシート・小テスト・発表
② 思考・判断・表現		定期考査・ワークシート・小テスト・発表
③ 主体的に取り組む態度		ワークシート・小テスト・発言・発表・ノート